

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	歴史民俗資料館	No.	1
事務事業名	文化財保護事業		
向及主 けたび たH 改22 善年 点度 等内 に容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護事業 指定文化財の保護と普及、町史調査 埋蔵文化財の保護と開発受付に係る調査 伝統芸能保存事業 継承と普及、学校との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 古文書整理翻刻事業（予算は地域振興課所管） 小口城址範囲確認試掘調査（北小運動場） 土曜・日曜に町民に現場見学や体験で理解と興味を促す。2カ年計画で22年度に発掘調査、23年度に報告書作成（どちらも国庫補助50%）。 	

■事業コスト

		単位	H20年度決算額	H21年度当初予算額	H22年度計画額
事業費		千円	5,716	7,493	5,920
(内特定財源)		千円	29	30	1,517
人工	職員	人工		1	1
	臨時職員	人工		0.5	0.2
	計	人工		1.5	1.2

■H22年度計画額内訳

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額	積算根拠
3	1	報酬	62	文化財保護審議会委員 15500円×4人
	8	報償金	100	枠 伝統芸能発表会出演者5地区×2万円
	9	費用弁償	12	枠 文化財保護委員研修 3,000円×4人
	11	需用費		
		消耗品費	69	枠 伝統芸能消耗品
		印刷製本費	573	枠 文化財マップ等3種増刷、 伝統芸能発表会ポスター等
	12	役務費		
		手数料	30	枠 クリーニング
		保険料	407	枠 文化財動産100、獅子屋形等307
	13	委託料		
		古文書複製業務	500	枠
		獅子屋形等運搬業務	100	枠
		伝統芸能発表会運営	610	枠
		小口城址範囲確認試掘調査	2,974	枠 (国庫補助50%)

	19	負担金補助及び交付金		
		補助金	0	
		交付金	483	指定文化財：事業系4点265、古墳樹木218
合 計			5,920	

■H22 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考
雑入	30	各種売払い
埋蔵文化財調査事業費補助金	1,487	国庫補助金50%
合 計	1,517	

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	歴史民俗資料館	No.	2
事務事業名	歴史民俗資料館		
主 な 業 務 内 容 等	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の企画展の開催（予算を例年の400万円から360万円に圧縮させたが、企画展の質を下げないように施行する） 端午の節句、恐竜イラスト展、 大口の民話展、ひなまつり ・収蔵庫の収蔵品の登録作業 推定1万2千件中9千弱終了。臨職1名に補助させ、登録と整理を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の賃金の予算を労働の時間・日数を減じて圧縮したが、臨時職員の勤務日を正職員の代休を勘案しながら調整し、業務に支障なく開館運営をする。 ・印刷製本費の予算を例年より圧縮したが、印刷物作成の見直しと執行を工夫して施行。 ・昨年度、町指定文化財に指定した仏像を修理し、資料館で常設展示する。 	

■事業コスト

		単位	H20 年度決算額	H21 年度当初予算額	H22 年度計画額
事業費		千円	14,726	15,469	12,310
(内特定財源)		千円	17	35	35
人工	職員	人工		1	1
	臨時職員	人工		1.5	1.8
	計	人工		2.5	2.8

■H22 年度計画額内訳

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額	積算根拠
4	7	賃金		
		臨時職員	3,079	資料館の開館日数(249+14=263日)のうち、繁忙期・閑忙期の出勤にメリハリをつけ、月に2日ないし3日の無給休暇を目安に年間234日の出勤とし、正職員の代休を考慮しながらローテーション化して勤務体制の効率化を図る。 970円×234日×7時間=1,588,860 890円×234日×7時間=1,457,820 休日出勤 14日 970円×7日×7時間×0.35 =16,636 890円×7日×7時間×0.35 =15,264
		臨時職員通勤手当	218(予算) 24(実額)	遠方から来ていた臨時職員を町内在住者に切り替えた。2キロ未満で0円

				2,000円×12月=24,000
	9	普通旅費	158	枠 資料調査(東京2回、松江市1回ほか)、各種会議
	11	需用費		
		消耗品費	421	枠
		印刷製本費	2,100	枠 企画展ポスター756千円, 図録496千円 年報368千円, 研究紀要480千円
		修繕費	367	枠 民具修繕50,000円+展示の仏像修理316,050円
	13	委託料		
		電子計算機器保守	252	枠
		企画展示委託料	3,600	枠
		企画展示委託料	386	枠
		展示室燻蒸委託料	279	枠
		収蔵庫夜間警備	326	枠
		収蔵庫消防設備保守点検	21	枠
	14	賃借料		
		モップ等	68	枠
		複写機	60	枠
		電子計算機器	895	枠
	18	備品購入費	50	資料購入費
	19	負担金		
		日本博物館協会	20	毎年同額
		県博物館協会	10	毎年同額
		合 計	12,310	

■H22 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金 額	備 考
雑入	15	各種売払い
	20	ポスター広告
合 計	35	